

より密接な地域医療連携をめざして

地域医療連携室

Office of Community

だより

APRIL, 2010 創刊号



特集

初診紹介患者予約診療について

第一回地域医療連携懇話会の開催報告



地域医療連携室

より密接な地域医療連携をめざして

だより

APRIL, 2010

C O N T E N T S



- 01 ごあいさつ
- 02 病院の紹介
- 03 創刊によせて
- 04 地域医療連携室の紹介
- 05 前方連携（初診紹介患者予約診療）
- 08 後方連携（退院調整）
- 09 地域連携クリティカルパス
- 11 画像支援
- 12 第一回地域医療連携懇話会の開催報告
- 15 各種様式 初診紹介患者予約診療依頼書
- 16 診療情報提供書（患者紹介状）
- 17 地域医療連携室のご案内

ごあいさつ

平素は、奈良県立医科大学附属病院の運営にあたり、ご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本院は、大学の附属病院として臨床教育・研修の場であると同時に、地域における中核の医療機関として、常に新しい社会的要請に対応できる体制を確立するとともに、先進的高度医療を担い地域住民の方々の健康をお守りするという基本的な考えのもと、より質の高い医療を効率的に提供し、患者さん一人ひとりのニーズに応えるよう努めているところであります。



昨今、医療機関の機能分化がいられています。個々の医療機関がこれまで以上に相互に連携し、効率的・効果的に連続した医療が、患者さんを中心に提供されなければなりません。

本院では、地域医療連携を機能的、組織的に推進するため、地域医療連携室を設置し取り組んでいるところであります。

永年の懸案でありました「紹介患者さんの初診予約」を平成21年10月から全診療科で実施し、待ち時間の短縮など患者サービスの向上や地域の医療機関との連携の推進に努めているところであります。

後方連携部門につきましても、脳卒中地域医療連携パスやがんの連携パスの実施、また平成21年度から地域看護専門看護師を配置し、在宅へ復帰される患者さんへの支援体制の整備も図ったところであります。

地域医療連携室が4年目を迎え、地域の医療機関の皆様方とともに、地域医療連携のさらなる推進に努めてまいり所存であります。

このたび「地域医療連携室だより」創刊号を刊行することができました。

今後、地域医療連携に関する情報を発信するなど、内容を充実させていきたいと考えておりますので、引き続きご協力のほどお願いいたします。

まずは創刊にあたりましてご挨拶いたします。

奈良県立医科大学附属病院長 榊 壽右



病院の紹介

病院の理念

- ① 医の倫理にしたがい、安全で質の高い先進の医療を提供し、県民から信頼される病院を目指します。
- ② 医療の質の向上に努め、地域のニーズにあった診療体制を確立し、安心の得られる医療を目指します。
- ③ 人権を尊重し、人間味豊かで信頼される優れた医療人を育成します。

基本方針

- 病状や治療方針を分かりやすく説明し、安全で質の高い医療を提供します。
- 高度で先進的な医療を提供します。
- 医の倫理にしたがい、患者さんの意思と権利を尊重し、心の通い合う医療を提供します。
- 県における基幹病院として、地域の医療機関との連携を図り地域医療に貢献します。
- 臨床教育を充実し、人間味豊かで県民から信頼される優秀な医療人を育成します。

病院の組織

診療部 | 22診療科・980床（一般861・精神110・感染9）

- 循環器・腎臓・代謝内科 ● 呼吸器・血液内科 ● 消化器・内分泌代謝内科 ● 感染制御内科
- 神経内科 ● 消化器外科・小児外科・乳腺外科 ● 脳神経外科 ● 心臓血管外科・呼吸器外科
- 整形外科 ● 歯科口腔外科 ● 産婦人科 ● 眼科 ● 小児科 ● 精神科 ● 皮膚科、形成外科
- 泌尿器科 ● 耳鼻咽喉科・甲状腺外科 ● 放射線科（画像診断・IVR） ● 放射線治療・核医学科
- 麻酔・ペインクリニック科 ● 救急科 ● 総合診療科

中央部門 | （10部・8センター・4室）

- 中央臨床検査部 ● 輸血部 ● 中央手術部 ● 集中治療部 ● 中央放射線部 ● リハビリテーション部
- 中央内視鏡・超音波部 ● 透析部 ● 病院病理部 ● 高度救命救急センター
- 総合周産期母子医療センター ● 感染症センター ● 精神医療センター ● 遺伝カウンセリング室
- 腫瘍センター ● 緩和ケアセンター ● 治験センター ● 移植細胞培養センター ● 中央材料室
- 医療情報部 ● 医療安全推進室 ● 地域医療連携室

薬剤部

看護部

栄養管理部

臨床研修センター

事務部門 | 病院経営部

- 経営企画課 ● 病院管理課 ● 医療サービス課



創刊によせて

地域の先生方を始め、関係各位の皆様には平素より地域医療連携室に対し、ご支援とご協力を賜り感謝申し上げます。

平成19年4月1日当大学が地方独立行政法人へ移行されると同時に、当室が附属病院の中央部門として開設され、看護副部長を兼務しながら当室の運営を担当させていただき3年になります。

また、同年4月から第5次医療法等の改正を受け、医療制度改革大綱に沿った様々な改革が進められていることに鑑み、「良質で、安心・信頼のできる医療サービスの提供」を目標に掲げ、地域における当院の果たすべく役割を考えながら今日まで活動をしてまいりました。

その結果、多くの方々のご理解とご協力を得まして、「初診紹介患者の予約診療」「入院患者の退院調整」「地域連携クリティカルパス（脳卒中・肺がん）」「画像支援」等、当室の主要な業務として確立しシステムを構築、運営するに至っております。

設立時は、3人でのスタートで、しかも、看護職一筋でやってきた者として現場から離れての室の運営に不安と戸惑いの連続でありましたが、当室の主要な業務ができるよう人員も確保していただき、現在では13人と、当初構想として抱いていた陣容となるに至っています。今後、当室が果たすべく役割、期待の大きさを考えると責任の重要性を痛感しています。

ここに、当室の主要な業務をまとめることができました。地域医療連携の情報等を発信する媒体として、この「地域医療連携室だより」を活用していきたいと考えていますので、お気づきのことがあれば、ご意見を賜りますようお願いいたします。

地域医療連携室各人がその役割と重要性を誇りに精力的に取り組み、地域の基幹病院としての役割を果たせるよう一丸となって精進していく所存です。地域の先生方や関係職種の方々との有機的な連携により、切れ目のない継続医療「地域完結型医療」を提供できるよう努めてまいりたいと考えていますので、引き続きご尽力を賜りますようお願いいたします。



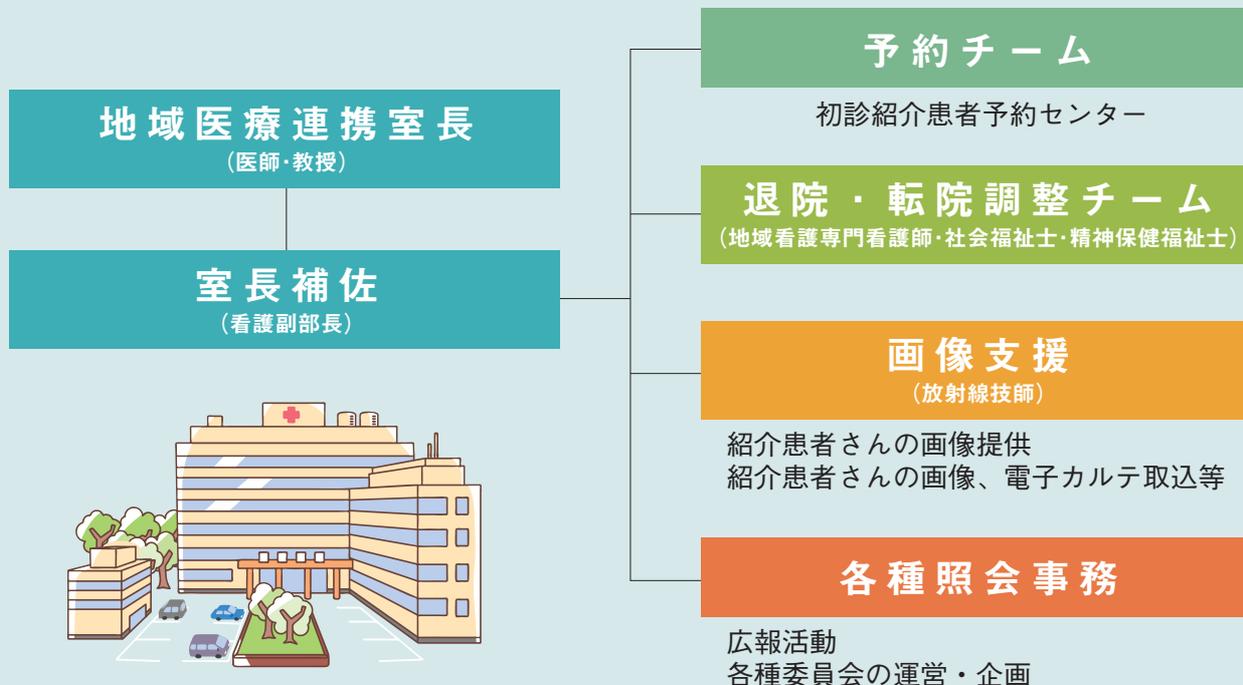
地域医療連携室長補佐 大名 美記子



地域医療連携室の紹介

より密接な地域医療連携をめざして

地域医療連携室 組織図



現在行っている主要業務

- 1 前方連携（医療機関からの初診紹介患者の予約診療）
平成20年7月トライアル開始
地域医療連携推進委員会→病院運営協議会→平成21年10月1日全診療科実施
- 2 後方連携（退院支援・調整、退院前カンファレンスの調整）
急性期を経過した患者さんの他医療機関への紹介及び転院
（回復期リハビリテーション、療養病床、在宅・施設などへの支援）
- 3 地域連携クリティカルパスネットワーク
脳卒中
がん疾患：肺がん（化学療法タキソテールとイレッサ導入）、リンパ浮腫・5大疾患協議中
- 4 紹介患者画像支援（電子カルテ画像支援）
持出：電子カルテ画像をメディアで提供
取込：紹介患者さんが持参した画像を電子カルテ取込
- 5 診療支援連携（他医療機関受診患者の連携と調整）
診療情報提供書授受や返書連携・管理、患者情報提供依頼に関する連携と調整、情報検索・提供、統計管理
- 6 その他（広報活動・医療連携各種委員会の運営・学生講義・実習、研修受入・地域講演など）

前方連携（初診紹介患者予約診療）

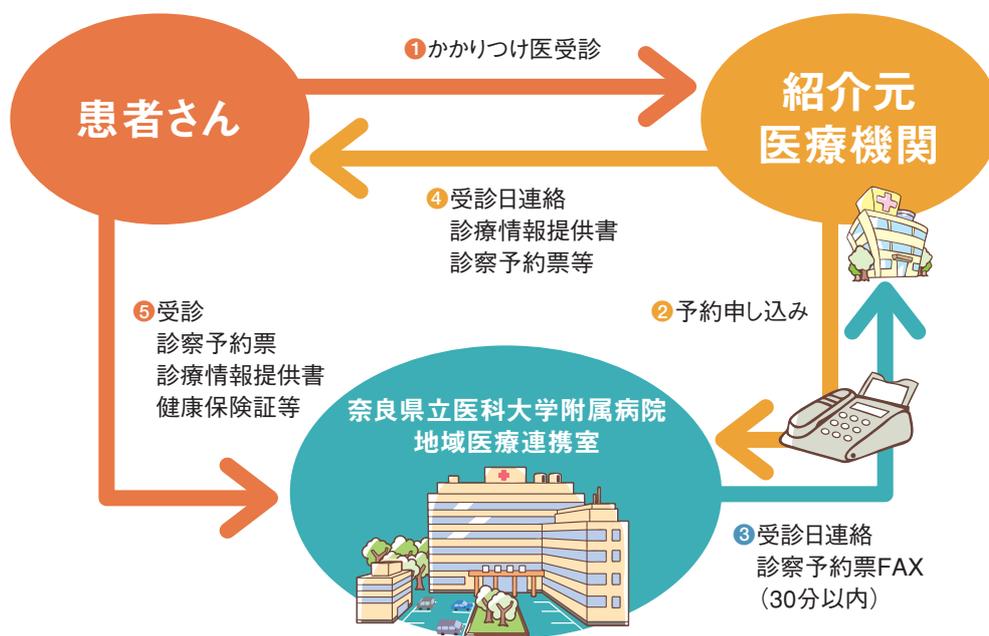
当院では、紹介患者さんの診療待ち時間の短縮や、病病・病診連携を推進するため、地域医療連携室を窓口として、初診紹介患者さんの予約診療を全ての診療科で実施しています。

なお、当院は各診療科が高度に専門化された**特定機能病院**であり、原則として診療情報提供書（患者紹介状）をお持ちの紹介患者さんを診療することとなっておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

予約診療により

- 目的に合った専門医の診察を受けることができます
- 診察に必要な事務手続きが簡略化されます
- 予約取得することで、待ち時間が短縮されます

初診紹介患者予約診療のフロー



[予約の流れ]

- ① 患者さんは紹介元医療機関を受診されます。
- ② 紹介元医療機関は当院へ予約申し込みをしてください。
- ③ 予約日時を調整後、当院より紹介元医療機関へ受診日を連絡します。
- ④ 紹介元医療機関は、診察予約票・診療情報提供書等を患者さんにお渡しください。
- ⑤ 患者さんは予約日に当院を受診されます。

※受診に際して必要な書類

- ・診察予約票 ・診療情報提供書（患者紹介状）
- ・健康保険証、公費医療保険証 ・診察券（当院に受診歴のある方）



予約方法

1 FAXで予約申し込み

当院専用の「診療依頼書(P.15)」と「診療情報提供書(患者紹介状)(P.16)」に必要事項をご記入の上、地域医療連携室にFAXでお申し込み下さい(送信時、FAX番号には十分ご注意ください)。※電話でのご予約は受け付けておりません。必ずFAXでのお申し込みをお願いします。

2 「診察予約票」を返信

予約日時を調整後、「診察予約票」をFAXで返信します。(概ね30分以内)

3 患者さんにお渡し

「診療情報提供書(患者紹介状)」の原本と、当院からFAXでお送りした「診察予約票」を患者さんにお渡し願います。

予約受付時間

平日 8:30~16:00

FAX 0744-23-9923

TEL 0744-29-8022 (直通)

0744-22-3051 (代表)

内線3150・3154

患者さんの声

- 遠方からの来院ですので、事前に予約を取っていただき時間的にも大変助かりました。
- 予約診療であったので、思っていたより早かったのが良かった。
- 仕事を持っているので、予約がありがたいです。

Q & A

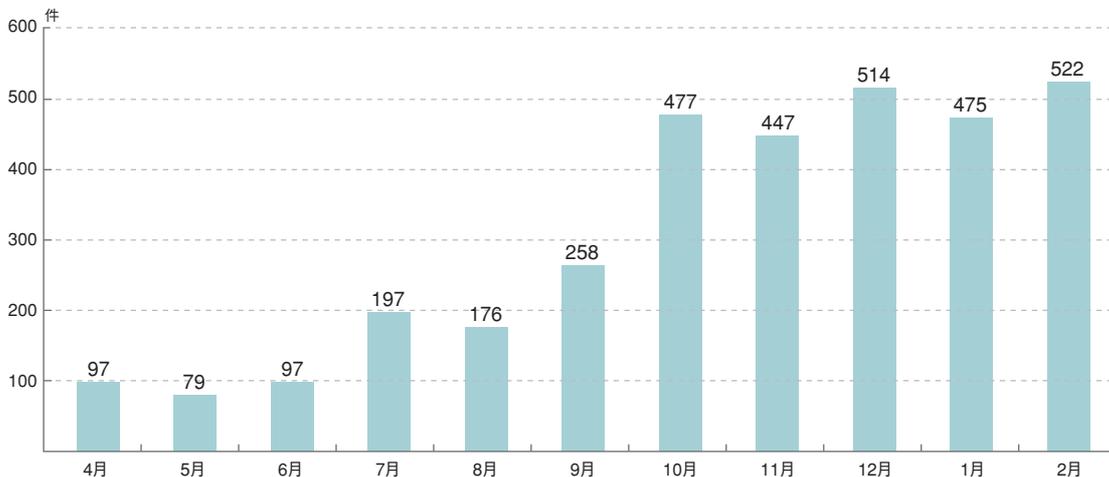
- Q 夜診時間帯に、予約はできませんか?
- A インターネット予約を検討中です。
- Q 診療情報提供書を依頼書と同時に準備できない時は、どうしたらよいのか?
- A 診療情報提供書は、診療をスムーズにするために事前に電子カルテに取り込みますので、予約診療日の2日前までにご送信ください。

よりよい医療を提供し、紹介患者さんへのサービスを一層充実するため、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

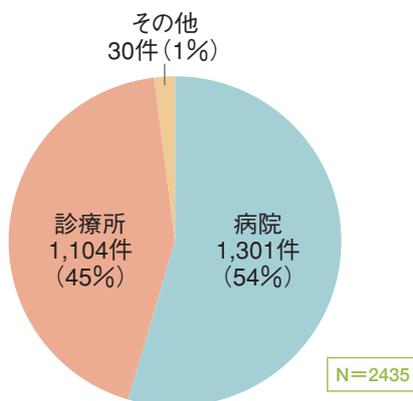


平成21年実績

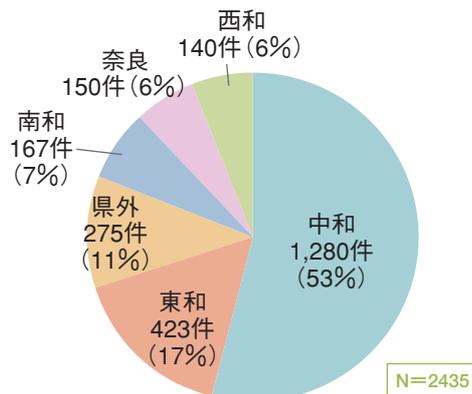
予約患者数



紹介医療機関内訳 (2009年10月～2010年2月)



地区別患者数 (2009年10月～2010年2月)



紹介医療機関数 (2009年10月～2010年2月)

地区	医療機関数
奈良	59
東和	76
西和	50
中和	187
南和	31
県外	143
合計	546

- 一つの医療機関で最も多い依頼件数は151件、次いで121件、81件となっています。いずれも、中和地区の医療機関です。
- 5件以上依頼があったのは102医療機関です。

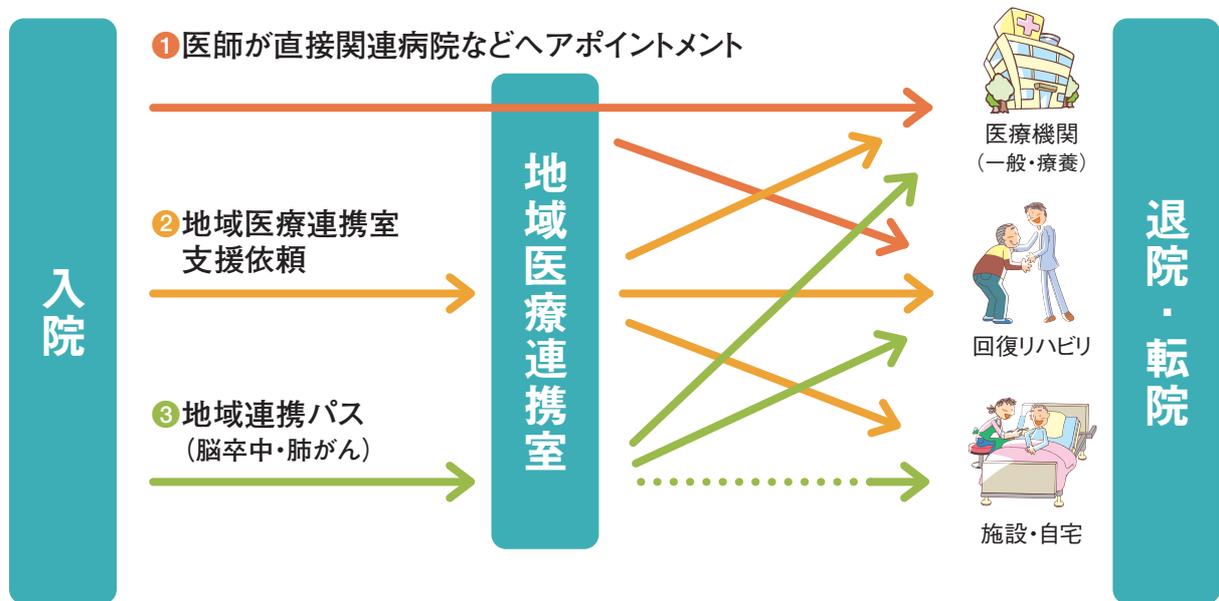


後方連携（退院調整）

平成19年度に地域医療連携室が創設されて以来、退院調整に取り組み、入院患者の転院・退院支援を行ってきました。現在、退院調整チームは4名で活動しています。

退院調整は、医師、看護師、患者・家族、他部署等からのフリーアクセスでの依頼や相談を受けて、支援を開始するというシステムで運用しています。また、平成21年度から地域看護専門看護師を配置し、一部診療科でスクリーニングシートを導入し、入院早期から支援の必要な患者さんを把握して、早期に介入することができるようになりました。

退院先としては、病院・施設・自宅退院等さまざま、患者さん・ご家族さんの意向を尊重して支援（調整）を行っています。



上の図は、後方連携のしくみを図示したものです。医師が直接、関連病院等へ依頼する場合がありますが、医療依存度の高い患者さんや退院（転院）調整の困難な患者さんについては地域医療連携室が介入し、支援を進めております。退院調整の中には地域連携パスも含まれており、現在、脳卒中・肺がんの地域連携パスを開始しています。

外来通院中の患者さんについても在宅で受けられるサービスについて、情報提供を行ったり、他機関への紹介などを行っています。

以上のように、さまざまなニーズに対応できるよう、チームメンバーが一丸となって取り組んでいます。今後、関係機関（医療・福祉・介護）との連携をさらに深めていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。



後方連携チーム

- 栗田 麻美 (地域看護専門看護師・社会福祉士)
- 松本 潔 (福祉事務所OB)
- 玉井 美希 (社会福祉士・精神保健福祉士)
- 上北 恵子 (社会福祉士・精神保健福祉士)

地域連携クリティカルパス

クリティカルパスは、患者さんが急性期病院から回復期・維持期病院において入院中に受けられる、手術などの治療、手術後のリハビリテーションなどを、わかりやすくまとめた「治療計画書」のことです。

クリティカルパスを用いることによって、入院から退院までの治療過程がよくわかり、患者さんにとって自己管理がしやすく、安心して、治療に参加できるというメリットがあります。

当院では、「脳卒中地域連携パス」、「がん地域連携パス」を実施しています。

Criticalpath

1

脳卒中地域連携パス

脳卒中の治療は、急性期病院での手術等の治療、連携先病院での回復期・維持期のリハビリテーションを中心とした治療が行われます。

脳卒中地域連携パスは、急性期病院と連携病院が患者さんの状態を的確に伝達し、一体となって、患者さんの治療やリハビリテーションを一貫性のあるものとして行い、急性期病院から回復期、維持期、在宅に移っても良質な切れ目のないケアを提供するものです。



地域連携バストライアル実務者協議会の様子

急性期病院

当院



回復期・維持期病院

連携病院



退院

脳卒中地域連携パスの目的・特徴

- ① 患者さんの状態に応じた今後の治療・リハビリテーションの方針を確立します
- ② よりよい機能・能力回復が得られるよう病院間の連携を行います
- ③ 連携病院が、定期的に情報交換をし、より迅速に対応してまいります
- ④ 医療機関(主治医)が替わっても、一貫した治療を行うシステムですので、患者さんが安心して治療を受けることができます

がん地域連携パス

近年、医療機関の役割分担が進んでいる中で、患者さんに対して提供される医療の質と安全・安心の確保をすることは以前にもまして重要となっています。

がんの治療においては平成19年4月にがん対策基本法が試行され、全国のがん診療連携拠点病院では、平成24年4月までに5大がんすべての地域連携クリティカルパス（連携パス）の作成が義務づけられており、その取り組みが進んでいます。都道府県がん診療連携拠点病院である当院でも、地域連携パス関連委員会を定期的に開催し、地域の医療機関と連携を図り、実施に向け検討を行っております。平成21年9月に「肺がん」連携パスに着手したところであり、今後は、他の「4大がん」についても地域医療機関の皆様と一緒に取り組んで参りたいと思います。

地域連携クリティカルパスの実施状況

連携病院

	連 携 病 院
脳卒中連携パス	山の辺病院、西大和リハビリテーション病院、 奈良県総合リハビリテーションセンター、平成記念病院、 東生駒病院、阪奈中央病院、辻村病院
肺がん連携パス	平成記念病院 平尾病院 土庫病院

実施状況

(単位:件)

	平成20年度	平成22年2月現在
脳卒中連携パス	7	8
肺がん連携パス	—	3



画像支援

当院は、平成18年12月から、電子カルテ・フィルムレス化に移行しました。これに伴い、放射線関連画像は基本的にフィルム出力がなくなっており、当院からお渡す画像は原則としてCDによる提供とさせていただきます。

また、平成20年4月から放射線技師を専任で配置し、より一層の画像支援サービスに努めております。特に初診紹介予約患者さん持参の画像は、診察までに電子カルテに取り込みを行っています。当院への画像はフィルムではなくメディアで提供していただきますよう、ご理解とご協力よろしくお願いいたします。

診察室



地域医療連携室



- *初診紹介患者さん持参画像は、地域医療連携室で受け取り、診察までに電子カルテへ画像の取り込みを行います。
- *医師は診察室で電子カルテから画像を参照することができます。
- *診察後、お預かりした画像をお返します。



●放射線技師 村井 正二

第一回

地域医療連携懇話会 開催報告

平成22年1月28日(木)午後6時から奈良県立医科大学蔵書会館にて、医師会及び地域の医療機関等及び各施設の方々との病病・病診連携の推進を目的とした「第一回地域医療連携懇話会」を開催いたしました。地域医療機関の先生を始め、看護師、ソーシャルワーカー等さまざまな職種の方々のご参加がありました。

第一回 地域医療連携懇話会



懇話会は二部制で実施しました。

第一部は、奈良県立医科大学 脳神経外科准教授 平林 秀裕先生を講師に招き「奈良医大における脳卒中地域連携の現状」の演題でご講演いただきました。

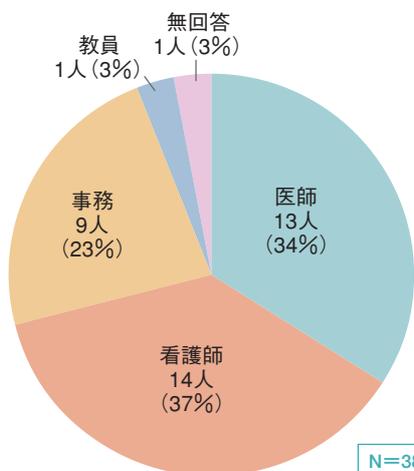
第二部は病病・病診連携に関することをテーマに意見交換が行われました。

院内外合わせて111名という多数のご参加をいただき、記念すべき第一回を盛会のうちに終えることが出来ました。

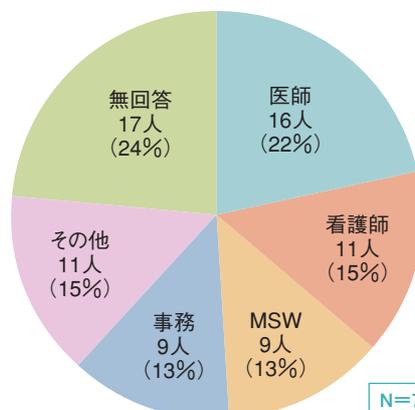
今後も年4回の開催を計画しており、「第2回地域医療連携懇話会」は平成22年4月22日蔵書会館での開催を予定しております。多数のご参加をお待ちしております。

第一回地域医療連携懇話会参加者

院内参加者職種別内訳

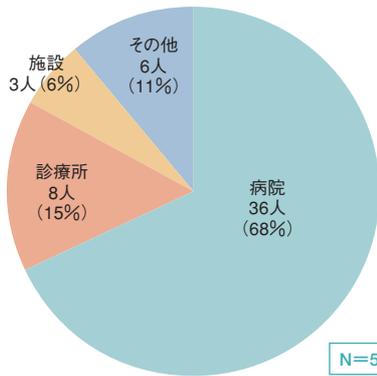


院外参加者職種別内訳

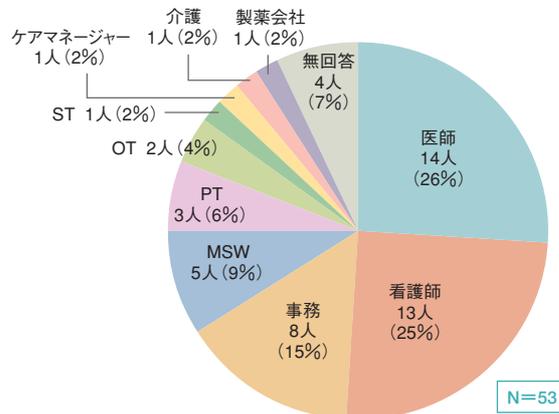


—— 第一回地域医療連携懇話会アンケート結果 ——

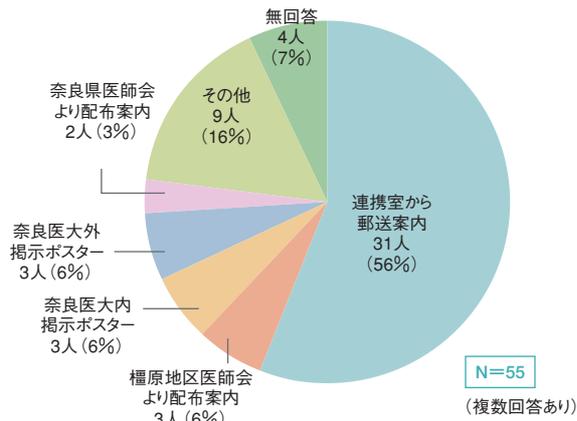
医療関係



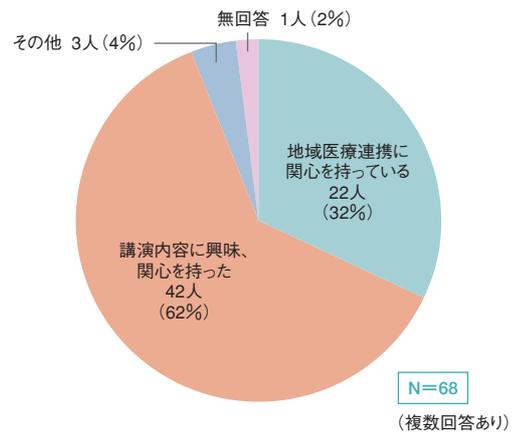
職種



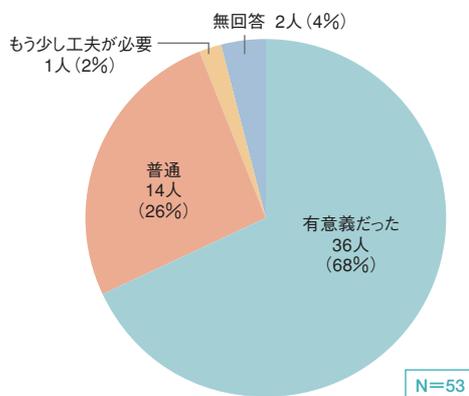
本日の懇話会はどのようにしてお知りになりましたか。



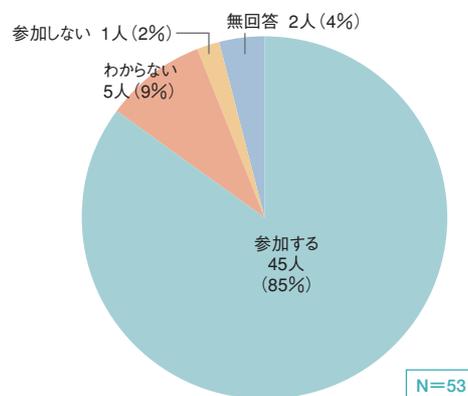
本日参加して下さった理由をお聞かせください。



懇話会にご参加いただいた感想をお聞かせください。



次回以降の地域医療連携懇話会に参加したいと思われますか。



アンケートにおける質問についての回答

Q 1 ネット予約を早急に進めて欲しい。

実験的ではありますが夜間（17時から22時まで）の初診予約をインターネットを介して行う計画をたてております。

Q 2 紹介した患者さんの最終結果（転帰）を必ず返書して欲しい。



ご紹介いただいた患者さんのその後の経過は一番必要とされている情報だと認識しております。今後とも院内の医師に周知を続け、紹介元へ返書させていただくよう努めてまいります。滞っているケースに関しては、個別に対応いたします。地域医療連携室まで申しつけください。

Q 3 ある科の外来で当科は完全予約制ですと言われた。当日に緊急紹介できるルートは確保していただきたい。

緊急の場合タイムラグを最小限にとどめるため地域医療連携室を通してのご予約ではなく、直接診療科にて対応させていただきます。

Q 4 次回の懇話会は出来れば土曜の午後に開催して欲しい。

次回の懇話会につきましては平成22年4月22日（木）開催を予定しております。今後の開催につきましては、皆様のご意見をお伺いしまして、より多くの方にご参加いただけるよう検討させていただきます。（会が一方通行とならない、相互の発展の為の懇話会となるよう）

Q 5 複数科にまたがる患者さんの場合や専門科を指定しにくい患者さんの場合、奈良医大をよく知る総合診療科の医師が診療情報提供書を見て判断していただくルートを作って欲しい。

複数科にかかる患者さんの場合で診療科が不明な場合や専門科を指定しにくい患者さんの場合は、総合診療科にてお受けさせていただきます。



Q 6 放射線検査や診察の予約を午後7時までやって欲しい。診療所は夜診がある。

夜診の診療予約への対応につきましては、実験的ではありますがインターネットを介して、初診の予約をお取りいただくシステムを計画・検討しております。皆様への事前調査への協力、環境の調整・準備が出来ましたら改めてご案内をさせていただきます。

Q 7 初診診察医師を指定出来るようにして欲しい。誰が診てくれるかわからないと不安。

医師の指定を前提に予約診療を推進致しておりますが、診療科の特徴などから、一部の診療科においては個別の調整で対応しております。診療科にお伝えし、極力ご希望にそえるよう努めております。現時点でのご理解とご協力をお願いいたします。また、各医療機関様から多数のご意見は院内関連委員会において報告、共有し、より良いシステムの調整を進めております。

FAX 番号 : 0744-23-9923

平成 年 月 日

奈良県立医科大学附属病院
初診紹介患者予約診療依頼書 (FAX 専用)

医療機関名 : _____ 医師氏名 : _____

所在地 : 〒 _____

電話番号 : _____ () _____ FAX 番号 : _____ () _____

※下記の患者の診療依頼

診療希望日 (希望日取得ができない場合があります)
平成 年 月 日 () 又は 月 日 ()

患 者 情 報	フリガナ 患者氏名	_____	生年月日 (明・大・昭・平) 年 月 日	年齢 歳	性別 <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
	住 所	〒 _____	TEL : _____ () _____		
	当院受診歴	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 (☑チェックしてください)			
	紹介目的 (傷病名)				
	依頼診療科	※依頼診療科に☑チェックしてください <input type="checkbox"/> 循環器・腎臓・代謝内科 <input type="checkbox"/> 呼吸器・血液内科 <input type="checkbox"/> 消化器・内分泌代謝内科 <input type="checkbox"/> 神経内科 <input type="checkbox"/> 消化器外科・小児外科・乳腺外科 <input type="checkbox"/> 脳神経外科 <input type="checkbox"/> 心臓血管外科・呼吸器外科 <input type="checkbox"/> 整形外科 <input type="checkbox"/> 口腔外科 <input type="checkbox"/> 産婦人科 <input type="checkbox"/> 小児科 <input type="checkbox"/> 眼科 <input type="checkbox"/> 耳鼻咽喉科・甲状腺外科 <input type="checkbox"/> 皮膚科、形成外科 <input type="checkbox"/> 泌尿器科 <input type="checkbox"/> 精神科 <input type="checkbox"/> 放射線科 <input type="checkbox"/> 放射線治療・核医学科 <input type="checkbox"/> 麻酔・ペインクリニック科 <input type="checkbox"/> 総合診療科 <input type="checkbox"/> 感染制御内科 <input type="checkbox"/> 緩和ケア			
	持参資料	<input type="checkbox"/> X線 <input type="checkbox"/> CT <input type="checkbox"/> MRI <input type="checkbox"/> 内視鏡 <input type="checkbox"/> 超音波 <input type="checkbox"/> 心電図 <input type="checkbox"/> 血液検査 ※なるべくメディアで持参ください			

※入院中 入院中の患者様の場合は、☑チェックしてください

- ※ この診療依頼書はカルテ準備の都合上、もれなくご記入をお願いします。
- ※ 予約の際には、診療情報提供書も必要となります。診療依頼書と併せてご送信ください。診療情報提供書が診療依頼書と同時にご準備出来ない場合は、予約診療日の2〜3日以内に、ご送信ください。

奈良県立医科大学附属病院 地域医療連携室
〒634-8522 奈良県橿原市四条町 840 番地
電 話 : 0744-22-3051 (内線 3150, 3154)
0744-29-8022 (直通)
0744-23-9923 (FAX)

地域医療連携室のご案内

2F FLOOR GUIDE



1F FLOOR GUIDE



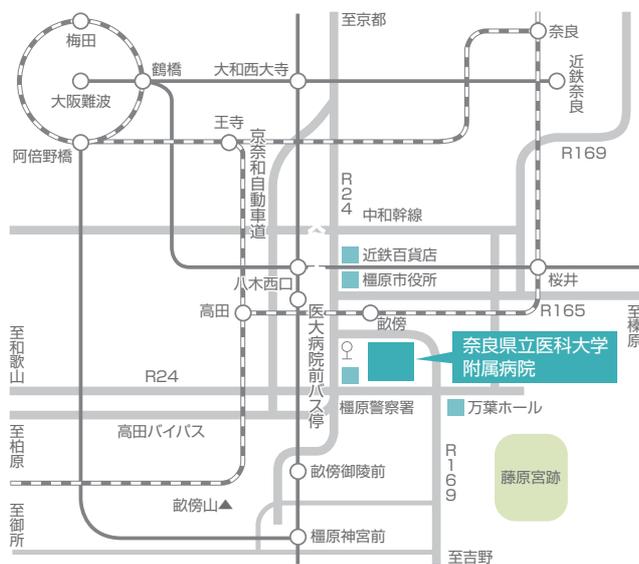
地域医療連携室



室長 岡本 康幸
室長補佐 大名 美記子
 村井 正二
 栗田 麻美
 松本 潔
 玉井 美希
 中窪 有味
 坪井 千佳
 上北 恵子

薄谷 実保子
 森 利恵子
 船戸 麻衣
 干井 ゆきの
 蘆田 真由美
 朝井 香菜子





交通のご案内

- 大阪難波より 近鉄大和八木駅まで35分 ○京都より 近鉄大和八木駅まで50分
- 奈良より 近鉄大和八木駅まで30分 ○五条より JR畝傍駅まで40分
- JR畝傍/近鉄八木西口駅下車南へ500m
- 奈良交通バス医大病院前下車すぐ

奈良県立医科大学附属病院

〒634-8522 奈良県橿原市四条町840番地
 tel.0744-22-3051 (代表) Fax.0744-22-4121
 URL <http://www.naramed-u.ac.jp/hp/>

発行/平成22年3月
 編集/公立大学法人 奈良県立医科大学 地域医療連携室